



新

**江田島市の港に
カーシェアサービスが新登場!**

小用港と中町港に2台ずつ設置されたカーシェアステーションが、2020年8月にオープンしました。この「ダイハツカーシェア」は会員登録するだけで、入会金も月額費も無し。Webで簡単に予約でき、ガソリン代や保険料込みで1時間700円からの貸し出しとなります。最新のナビが搭載されているので、初めて江田島市へ訪れた人でも安心です。

ダイハツ広島 カーシェア 検索

**1 小用港(こようこう)
8:45 江田島町小用2-1 START!**

小用港に着くと、駐車場には「カーシェア」と書かれたのぼりがはためき、予約した車が待っています。

**6 「大柿地区歴史資料館」
11:30 大柿町大原1068-6**

郷土史や、大柿町出身で漆工芸家の六角紫水、政治家の瀬尾弘吉が文部科学大臣だった時の凱旋写真など、様々な資料を見学。スタッフさんがとても親切にご説明くださいました。



2階は「江田島市瀬尾記念文庫」の展示。p3の特集17番参照。

**7 「Café OLIVE & LIME」
12:30 沖美町畑1252-4**

2017年開業の、三角屋根のお洒落カフェでランチタイム。光る瀬戸内海を窓から眺め、美味しいカレーとピザをいただきました。



今号で特集した江田島の史跡や、新名所などをカーシェアを利用して家族と巡ってきました。「旧海軍兵学校の見学コースは行ったことがあるけれど、他の場所にはなかなか行けず…」というETTO読者の方も、小さなお子様連れの方も、上記をご参考の上、気軽なドライブ観光を楽しんでもらえたら嬉しいです。
—ETTO編集者 松本大樹

島内一周が約100kmある江田島市を効率よく巡るために、車は最適です。新たに開業した所や、古い歴史を感じる所へ、ぐるりとドライブしてみませんか。



**2 「学びの館」江田島町中央1-3-23
9:00 「ふるさと交流館」江田島町中央1-3-10**

江田島市の歴史と文化を学べる「学びの館」で見学した後、徒歩2分の「ふるさと交流館」へ。特産品販売や喫茶、無料休憩所、展示室を備え、観光案内も充実。船の時刻表やイベントなど最新情報をチェックしました。

「学びの館」の入り口と、館内の階段。p1の特集5番参照。



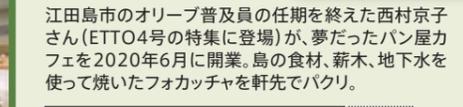
**5 「しまのぱん souda!」
11:00 大柿町大原1637-1**

レンガを一つ一つ積み上げて造った石窯。パンの通販も可能(不定期)。p5の紹介記事をご覧ください。



自然発酵の種を使用した石窯パン店がオープン!

江田島市のオリブ普及員の任期を終えた西村京子さん(ETTO4号の特集に登場)が、夢だったパン屋カフェを2020年6月に開業。島の食材、薪木、地下水を使って焼いたフオカッチャを軒先でバクリ。



江田島 しまのぱん souda! 検索

**3 長瀬海岸
9:50 能美町中町**

寄り道してビーチへ。江田島湾内の波は今日も穏やかでした。



**4 「軍艦利根戦没者慰霊碑」
10:10 「軍艦利根資料館」能美町中町4719付近**



全長3m近くある慰霊碑に圧倒されました。 2歳の息子は、軍艦「利根」の模型に興味津々!

**9 三高港 [みたかゲートハウス]
14:00 沖美町三吉2776-3**



西の玄関口である三高港が一新されました! 旅客ターミナルに、三高交流プラザ(市の支所・商工会・まちづくり協議会・図書室など)を併設した「みたかゲートハウス」が、2020年8月に完成しました。施設内には、軽食を販売する「FELICE KITCHIN(フェリーチェ キッチン)」と、野菜や花などの無人直売所もあります。瀬戸内海と三高地区の町並みを一望できる3階の展望デッキと合わせて、江田島市の新たな憩いの場として楽しめそうです。



江田島 みたかゲートハウス 検索

**8 「入鹿明神社(いるかみょうじんじや)」
13:30 沖美町是長1433-2付近**

鹿の伝説がある神社は、2019年7月にリニューアルした宿泊施設「Uminos(ウミノス)Spa&Resort」の近くです。夕陽が美しいと有名な入鹿海水浴場も目前です。



**GOAL! 10 小用港(こようこう)
14:45 江田島町小用2-1**

沖美町から江田島町へのんびりドライブ。ガソリンを満タンにせず返却してよいシステムなので、そのまま小用港へGO! 本日のカーシェア料金は、お得な6時間パックで、3,600円でした。

歴史と文化の島 えたじま史跡巡り

江田島町【えたじまちょう】

1 施設 かいじょうじえいたい だいいちじゅうかっこう・かんぶこうほせいがっこう 海上自衛隊第1術科学校・幹部候補生学校

世界三大兵学校として名を馳せた旧海軍兵学校は、歴史的建造物の宝庫
住所：江田島町国有無番地



東京・築地にあった海軍兵学校が、1888年(明治21年)に江田島へ移転。現在は、海上自衛隊の教育施設になっています。明治期に水交館、イギリス人の建築家が設計した海軍兵学校生徒館(通称：赤レンガ、現・幹部候補生学校)、大正期に大講堂、旧高松宮邸、昭和期に教育参考館といった建物が竣工。教育参考館には動乱の時代の貴重な資料が多数あり、特攻隊員の遺書や、勝海舟の書も展示されています。また敷地内では、戦艦「陸奥」の主砲や特殊潜航艇なども見ることができます。

◆校内無料見学ツアー：約90分 平日：10:30/13:00/15:00 土日祝：10:00/11:00/13:00/15:00(事前にWebなどでご確認ください) 電話：0823-42-1211(代表)

2 施設 きゅうかいぐんへいがっこうかしつしゅうかいじょ 旧海軍兵学校下士卒集会所

江田島市初!国の登録有形文化財(建造物)
住所：江田島町中央2-7-10



海友舎と呼ばれ、親しまれています

1907年(明治40年)に建てられた木造2階建ての白い洋館は、海軍兵学校の下士官たちの福利厚生施設で、「海軍さん」のくつろぎの場でした。戦後は民間に払い下げになり、会社の事務所として使われ、2012年(平成24年)に撤退。空き家になったため、取り壊しの可能性もありましたが、市民有志が「NPO法人ぐるぐる海友舎(かいゆうしゃ)プロジェクト」を立ち上げ、建物の管理を行いながら、イベント開催など新たな交流を生み出しています。

3 名勝・奇勝 ふるたかやま 古鷹山

全国の「しま山100選」と、山と溪谷社の「中国百名山」に選ばれた名峰
住所：江田島町



鷹が翼を広げたように雄々しくそびえる古鷹山の麓には旧海軍兵学校があり、海軍時代の生徒から、今日の海上自衛隊員まで数多く駆け登り、心身を鍛えています。山頂には世界各国の方向を示す方位盤や、五省(旧海軍兵学校の五か条の訓戒)の看板などが設置。よく整備された登山道は起伏に富んで面白く、江田島の眺望が美しく広がります。



登山口：小用港から幸ノ浦方面に向かう「奥小路」バス停留所付近。(駐車場あり) ※登山口は複数あり。

4 施設 ふるさとこうりゅうかん ふるさと交流館

休憩もできる江田島市内観光の拠点! 住所：江田島町中央1-3-10

ドライブルートやレンタサイクルのご相談、時刻表や観光案内冊子、イベントなど様々な情報を入手してください。1階は、特産品販売、喫茶、無料休憩スペース、2階は、旧海軍兵学校や海上自衛隊に関する展示があり、当時の制服や備品、写真や地図、書などを無料で見学することができます。建物は、海軍兵学校の生徒たちが外出日に休養する場所だった「倶楽部」の面影を残しています。

時間：9:00～17:00 休館：月曜日(祝日の場合は火曜日)・年末年始 電話：0823-42-4871



5 施設 まなびのやかた 学びの館

郷土風俗資料の展示や体験学習を行う施設 住所：江田島町中央1-3-23

常時展示と企画展示があり、無料で見学できます。旧江田島町の庄屋だった久枝家旧宅の一部を活用して建てられた施設で、趣きのある外観が特長です。裏手には、日本庭園風の向側(むかいがわ)公園があり、訪問者の憩いの場となっています。公園の一角には、郷土のために私財を投じて奮闘した、久枝與三吉の像があります。

時間：9:30～16:30 休館：火曜日・祝日・年末年始 電話：0823-42-1145



6 碑・像 ぐんかんはるな いずもせんぼつしやりゅうこんひ 軍艦榛名・出雲戦没者留魂碑

豊かな緑に抱かれた慰霊の地
住所：江田島町小用



アクセス：小用港から秋月方面に約800m。県道298号沿いの江田島公園内。(碑の付近に駐車場可能)

江田島町の小用沖に停泊していた戦艦「榛名」と練習艦「出雲」は、1945年(昭和20年)7月下旬の空襲を受け大破。両艦の犠牲者を弔うために建立された慰霊碑の題字は、元衆議院議長の灘尾弘吉の筆によります。また同地には、1943年(昭和18年)の海軍小用作業所の火災爆発事故で亡くなった方の慰霊碑、明治から大正期にかけて郷土の発展に尽力した久枝與三吉の立像、明治から昭和期にかけて消防施設の整備に貢献した小用地区の向田仁一郎を顕彰する、向田翁頌徳碑が並んで建てられています。

7 碑 かいじょうていしんせんたいせんぼつしやいれいひ 海上挺進戦隊戦没者慰霊碑

多数の若者の運命を想い、後世に伝えたい
住所：江田島町幸ノ浦2-2付近



ベニヤ製のモーターボートに爆雷を搭載して敵艦に体当たり攻撃する、陸上自衛隊の海上挺身戦隊。訓練を行った幸ノ浦地区に、戦没者慰霊碑が建てられています。多くの犠牲者を出しましたが、秘密部隊だったため、当時は戦果を発表されることがありませんでした。この部隊は、原爆投下直後の広島市へいち早く駆けつけ、救援活動にも従事したそうです。



案内人 畑河内真

江田島・能美島からは、古代の鏡や中世の土器が出土したことがあり、また近世の寺社や、明治以降の激動の時代の遺構が各地に残っています。古来から人々の目を楽しませてきたであろう史跡は、バス路線から離れていたり、険しく狭い道の先など、たどり着きにくい所も多いのですが…。私、ETTO編集長、畑河内真は、実際に史跡をたどる取材を敢行!今回は無料で見応えがあり、比較の見学しやすい30カ所をご紹介します。江田島市の歴史と文化、脈々と営まれてきた人々の暮らしの息吹を、ぜひ身近に感じてみてください。 ※文中の敬称は省略させていただきます。

8 寺社 えたじまはちまんぐう 江田島八幡宮

メイン道路脇の鳥居は異世界風
住所：江田島町中央4-1-30



木々に囲まれた鳥居は不思議な世界への入り口?! お気に入りです



1616年(元和2年)に再興と記録があるため、それ以前から存在していたと思われる神社です。社殿には、1727年(享保12年)に芸州藩主浅野吉長公、1924年(大正13年)には海軍兵学校に在学中の高松宮殿下が参拝したという棟札が掲げられています。また、境内に文政や享保など年号が印された灯籠や、谷口尚真海軍大将の筆書が刻まれた石柱があり、様々な時代を経て現在に至ることが伺われます。古くは古鷹山の山頂にあったとされる古鷹神社が、合祀されています。

能美町【のうみちょう】

9 像 せごえけんさくせんせいぞう 瀬越憲作先生像

日本棋院の初代理事長
住所：能美町高田
高田港近く、JA高田支店の脇



瀬越憲作は、明治に能美町高田村に生まれ、20歳で上京し、専門棋士として活躍。戦後は日本棋院の初代理事長となり、日本囲碁界の再建に貢献しました。1955年(昭和30年)に引退後、名誉九段に推され、紫綬褒章、勲二等瑞宝章を受章。没後、その功績を称えて銅像が建てられました。尾道市出身の彫刻家であり、広島県の名誉県民である圓舘勝三の作です。

10 碑・施設 ぐんかんとねせんぼつしやいれいひ 軍艦利根戦没者慰霊碑

長瀬海岸の近くにある慰霊碑と、軍艦利根資料館
住所：能美町中町4719付近

江田島湾に投锚していた一等巡洋艦「利根」は、1945年(昭和20年)7月下旬の空襲により大破着底。乗員128名が亡くなりました。住民も17名が犠牲となり、その方々のために建てられた慰霊碑です。裏手の「軍艦利根資料館」では、「利根」で使用されていた装備品や部品などを無料で見学できます。

◆軍艦利根資料館 時間：8:00～18:00 年中無休、自由見学 電話：無し



11 碑 いしがこうさくじゅうぞうひ、こうしひなきちひ 石谷広策寿蔵碑、孝子雛吉碑

師と家族のために尽くした2人の碑
住所：能美町中町3374-20付近



江田島警察、中町駐在所のすぐ脇に、「石谷広策寿蔵碑」と「孝子雛吉碑」が並んでいます。石谷広策は、江戸時代に能美町中村に生まれ、江戸で囲碁を学びました。明治に入り、同門の本因坊秀策の打碁を集めた「敲玉余韻」を編集。寿蔵碑とは生前に建てておく碑で、元は広島市西区にありましたが生まれ故郷に移設されました。「孝子雛吉碑」は、明治期、能美町中村の住人の沖上雛吉が、唯一残された家族である継母に孝行を尽くした功により、緑綬褒章を授与された善行を伝えるものです。

12 遺構

しもだやしきのがんぎ
下田屋敷の雁木

昔の能美島の海岸を思い描こう
住所：能美町中町
津田酒造付近



下田家は江戸時代に能美町で廻船問屋として栄えた家であり、その名残がこの雁木跡です。ここに船が接岸し、荷物の積み下ろしを行っていたようです。当時はこの周辺まで海だったことを思わせる遺構です。
アクセス：中町港から約500m、津田酒造株式会社から南へ約40m進んだ先。
※「下田屋敷の雁木」跡は建物の北側、13番の「千鳥文学碑」は同じ建物の南側にあります。

13 碑 能美島の風情を交え淡い恋心を描いた小説

ちどりぶんがくひ
千鳥文学碑

「千鳥」の作者は夏目漱石に師事
住所：能美町中町
津田酒造付近



明治から昭和にかけて活躍した小説家・児童文学者である鈴木三重吉は、東京帝国大学の学生だった1905年(明治38年)に病にかかり、能美町で廻船問屋を営んでいた下田家で療養しました。文壇デビュー作の「千鳥」は、この地で得た題材をもとに書いたとされています。翌年、夏目漱石の推薦で、「千鳥」を雑誌「ホトギス」に発表しました。
※「三重吉の抒情『千鳥』の故地」の碑は道路脇にあります。個人宅内に建てられている「小説『千鳥』記念碑(写真右)は、了承を得てご見学ください。

14 名勝・奇勝 しんどうやま 真道山

島の中央に位置し、千本桜が有名
住所：能美町



山頂へ到る林道両脇には桜の若木が連なって植えられており、「真道山千本桜」として多くの花見客が訪れます。360度の海と島の景観を見ることができ、パノラマ展望台は人気スポット。「同期の千本桜」や「五省」の碑があり、江田島市の随所にある歴史の残り香をここでも感じることが出来ます。山の中腹には公営の「真道山森林公園・キャンプ場」があります。

登山道の看板：中町港から東に徒歩約5分。(舗装路で、山頂付近に駐車場あり) ※登山口は複数あり。

15 遺構

ふくげん「なんぼんひ」
復元「南蛮樋」

千拓事業が大規模になった時代の優れた樋門
住所：能美町鹿川3322付近
大矢防災緑地内

江戸期に、鹿川地区で千拓工事が行われ、永田川と才越川の交わる地点に架けられた構造物が、海水流入を仕切る「樋門」です。1769年(明和6年)頃に設置された時は、以前の開き戸方式の樋門よりも大型で、水圧に耐える力も強力なことから「南蛮樋」と呼ばれ、技術的に大きな意義があったとされています。河川改修工事の際に掘り起こされ、2004年(平成16年)に復元しました。



大柿町【おおがきちょう】

16 碑 軍艦大淀戦没者之碑

飛渡瀬湾を見守り続ける慰霊の碑

住所:大柿町飛渡瀬 「内海」バス停留所付近



「大淀」は連合艦隊の旗艦を務めた船でしたが、1945年(昭和20年)の呉の空襲で損傷。江田島湾に係留されていたところ、7月の空襲で横転、座礁し、約270名が亡くなりました。「大淀」の戦没者慰霊碑は、飛渡瀬(ひとのせ)の湾を臨む位置に建立されています。

17 施設 おおがきちくれきしりょうかん・なだおきねんぶんこ 大柿地区歴史資料館・灘尾記念文庫

大柿町の郷土史や文化財の保存を目的とした施設

住所:大柿町大原 1068-6 「大柿老人福祉センター」バス停留所前



1階が大柿地区歴史資料館で、土器や経石、掛け軸、日本の漆工芸界の第一人者である六角紫水のパネルなどが展示されています。2階の江田島市灘尾記念文庫には、大柿町出身で大分県知事、文部大臣、厚生大臣、衆議院議長などの要職を歴任した灘尾弘吉の愛読書や、写真、資料があります。また、閲覧、貸出が可能な書籍も収蔵されており、テーブル席で調べ物や読書もできます。

時間:9:00 ~ 17:00 休館:月曜日(祝日の場合は火曜日)・年末年始 電話:0823-57-6420

18 寺社 しんぐうはちまんぐう 新宮八幡宮

9月に荘厳な祭礼があります

住所:大柿町大原 1986-3

大柿中学校付近



この階段は思ったより長いです頑張って!



平安時代に、豊前宇佐八幡宮から勧請して建立と伝えられる神社です。拝殿には水牛の角や木造船が掲げられており、境内には天保と刻まれた石など、長く親しまれてきた様子が見取れます。八幡宮の隣接地には、紡績工場の誘致に奔走した佐々木伝助の顕彰碑や、日清戦争や第二次世界大戦の戦没者の忠魂碑、慰霊碑などもあります。

19 像 ばばかんのどう 馬場観音堂

貴重な木造の観音菩薩像を拝観

住所:大柿町大原馬場 3916 付近

創建年代は不明ですが、江戸前期の作とされる木造聖観世音菩薩立像が納められています。この観音像は、観音堂の格子戸ごしに拝観することができます。



20 像 だいにちどうのもくぞうだいにちによらいざぞう 大日堂の木造大日如来坐像

発見困難! 住宅地の路地に鎮座する大日如来

住所:大柿町大原 1948 付近



かなり見つけにくい場所ですが、新宮八幡宮から川沿いを山手に進むと、右手側に大日堂があります。鎌倉時代後期の作と推定される木造の「金剛界大日如来像」と「胎藏界大日如来像」が拝観できます。

車では入れません宝探し気分で行ってみよう!

21 塔 おおはやくしどうのきょうせきとう 大原薬師堂の経石塔

経石塔は有形文化財(建造物)

住所:大柿町大原 3545 付近

能美城址付近の薬師堂の境内に、飢饉で命を落とした方の霊を慰めるために建てられた経石塔。経石塔とは、お経を書き写した石(経石)が埋められた経塚に建つ塔のことです。この塔は江戸時代のもので、経石の一部は17番の「大柿地区歴史資料館」に展示されていますので、合わせてご見学ください。



22 名勝・奇勝 だぼうざん(おいのうらけいこく、てんくいわ) 陀峯山(追ノ浦溪谷、天狗岩)

山頂まで車で行ける絶景スポット! CM撮影ロケ地の天狗岩も! 住所:大柿町



陀峯山は奇岩が織りなす独特な景観、切り立った断崖、パノラマで人気の高い山です。早瀬大橋や倉橋島などの瀬戸内の風景も見られます。足がすくむ迫力の眺めの「追ノ浦溪谷」(写真中央)、キリン「オールフリー」のCM撮影(香取慎吾、稲垣吾郎、塚地武雅の豪華キャスト!)が行われた「天狗岩」(写真右)も、異国に来たような面白さです。登山口:国道487号から旧ユウホウ紡績跡地の南側脇の道に入り、山頂まで5.4km。(車で山頂まで行くことが可能)※登山口は複数あり。

23 碑 へいけこうひ 平家口碑

昔から口伝に伝えられてきたもの

住所:大柿町大君



大柿町大君地区には、源平合戦の頃、屋島の戦いで敗れた平家一門が、安徳天皇とともに同地に降り立ったという伝承があります。この平家口碑の近隣には、「王泊」「蹴り小島」「御立山」など、安徳天皇ゆかりの地とされるスポットに案内看板が立てられています。

アクセス:ヤマト運輸広島大柿センター近くから国道121号に入り、200m先。

24 名勝・奇勝 ちゅうすやま 茶臼山

岩ではなく山です 広島県最低峰!

住所:大柿町深江



茶臼山は標高11mと、広島県で最も低いです。満潮時は島のように見えますが、潮が引いている時は山まで歩いて行くことができ、わずか1分で登山完了! 滑りやすいので、歩きやすい靴でお出かけください。

アクセス:沖野島へ渡る手前から、県道300号を右手に海岸線を見るルートを約900m南下。(付近に駐車可能)

沖美町【おきみちょう】

25 碑・像 おなぎり、せきぶつ 大名切、石仏

対岸での厳島合戦にまつわる伝承を示す碑

住所:沖美町是長



沖美方面から砲台山山頂に向かう道の脇に「大名切」と彫られた石碑があります。由来を示す看板はないものの、毛利元就と陶晴賢が戦った厳島合戦で、敗れた陶方の残党がここで果てたという話が残っています。斜め向かいには、年代不詳の石仏のお堂が建っています。

アクセス:鹿田公園から砲台山山頂へ向かうルートで、約1kmの地点。地図に「岩国デジタルテレビ中継局」と表示される施設の約100m手前。

26 寺社 いるかみょうじんじや 入鹿明神社

入鹿海岸周辺にある伝承エリア

住所:沖美町是長 1433-2 付近 Uminos(ウミノス) Spa&Resort 近く



入鹿海水浴場の砂浜を奥に歩いていくと、入鹿明神社が見えてきます。この神社には「神の枝をくわえた鹿が海を渡ってこの海岸に辿り着き、それを見た里人が社を建てた。」という言い伝えがあります。社の周囲は、獅子の顔のように見える奇岩や、投じた石がのれば愛が叶うと言われる夫婦岩、弁慶が、厳島弥山の山頂から投げたとされる弁慶岩などの伝説スポットが残されており、散策にもおすすめです。

27 寺社・碑 とくしょうじしょうろうもん 徳正寺鐘樓門

姫路城の天守閣と同じ建築様式と言われる鐘樓門

住所:沖美町三吉 1016-2



南北朝時代の伊予太守河野通朝の子、徳王丸が開いたとされる寺で、正面に鐘樓門が見られます。この鐘樓門はツガ材で造られており、揺れに対し重心が移動する仕組みになっています。川を挟んだ反対側には、尾首城跡の位置を示す石碑があります。

28 寺社 きふねじんじや 貴船神社

全体の調和が美しい拝殿 住所:沖美町高祖 三高中学校付近



約400年前に建立されたと言われる神社で、案内看板には、豊漁に御利益があったという伝説が記されています。境内には、日清・日露戦争に従軍した鈴木壮六陸軍大将の筆による忠魂碑や、慰霊碑も見ることができます。アクセス:三高港から東西に走る県道36号線を西方面に約200m。

29 遺構 ほうだいやま 砲台山

時が止まった空間に迷い込んだような史跡 住所:沖美町

砲台山の「三高山砲台跡」の総面積は、西日本最大規模と言われています。国交が悪化していたロシアのバルチック艦隊の進入を防ぐ目的で、1898年(明治31年)に竣工し、2年後に完成。山頂付近には、大砲を据える円形の砲台跡の他に、弾薬庫や巡回監視所、避難壕や兵舎などの遺構が残っています。広島湾を望む眺望も素晴らしく、静かな山中の史跡と相まって、非日常感を味わえます。

アクセス:三高港から県道36号を西に2.4km。亀原バス停付近の「創造の森森林公園」案内看板を左折し約3km。※登山口は複数あり。

30 施設 みたかだむ 三高ダム

ダムは広島湾まで見渡せる展望スポット 住所:沖美町三吉 1580



三高ダムは、元々は、第二次世界大戦中に旧海軍兵学校の水道用の水源として使用するために建設されたものです。終戦後はGHQへの接收を経て、現在は三高水系として、沖美町や能美町の一部地区の水道用水源として活用されています。

取材を終えて

今回、改めて驚いたのは、史跡の数の多さでした。そして中世から戦前戦後までという年代の幅広さ。なるべく気軽に行ってみることができるものを中心に紹介しましたが、島内でこれだけピックアップできるというのは貴重なことではないでしょうか。これらのうち一つでも、皆様が知らなかった郷土の顔を発見するきっかけとなれば幸いです。なお、表紙写真は29番の砲台山で、レンガ造りの避難壕と、奥には兵舎跡が見えています。また裏表紙に、カーシェアで巡る日帰り観光コースのご案内がありますので、そちらもぜひご覧ください。—ETTO編集長:畑内真(はたごうちまこと)

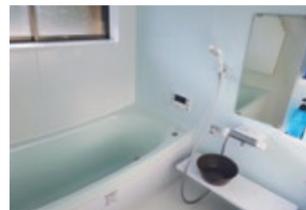
NEW OPEN! 江田島市の新規事業者さんをご紹介

New! えたじま体験型民宿

中町港から徒歩5分! 1日1組限定の民宿です。

能美町 中町 「体験民宿 NORA」

【住所】〒737-2301 広島県江田島市能美町中町850-10 【IN/OUT】16:00/10:00
 【電話】070-4030-0684 【mail】nora3etajima@gmail.com 【HP】https://nora3etajima.com/
 【料金(税抜)】大人4,000円 学生3,000円 中学生以下2,000円 小学生未満無料(お布団が不要な場合)



横浜市で、設備設計などを行う会社に勤務していた店主の早稲田圭さん。お子さんが生まれたのを契機に、出身地である江田島市に家族と一緒にUターン。CADを使った設計業務を請け負うかわら、2020年3月に、以前から思い描いていた体験民泊施設を、海沿いに開業しました。NORAでは宿泊するだけでなく、SUP(スタンドアップパドルボード)や農作業体験、ピザづくりやBBQなど、様々な島体験の相談にも乗ってくれます。また今後は、朝食やカフェメニューもお出ししたいと準備を進めているそうです。「施設のコンセプトは“ゆったり過ごす島時間”。1日1組限定ですので、ぜひ来てほしいですね」明るい早稲田夫妻とNORAのアイドル琉ノ介(りゅうのすけ)くんとふれあひも魅力の宿。ご家族やご友人同士、お1人様でも、島を訪れた際の拠点としてご利用ください。

祖父母の家に帰ってきたような大広間が、宿泊用のお部屋です。Wi-Fi完備、タオル、歯ブラシは無料サービスです。ご予約の際は、公式サイト「宿泊予約カレンダー」をご利用ください。

ご予約や最新情報は… 江田島 体験民宿 NORA 検索



New! えたじまカフェと民泊

大柿町 飛渡瀬

「こども自然体験くじら堂」

ホームステイ感覚で、気兼ねなくゆっくりと過ごせます。



店主の嶋愛さんは江田島市生まれ。兵庫県で看護師として勤務していましたが、出産をきっかけに故郷へ戻り、自らも子育てをしつつ、民泊家庭として多くの修学旅行の生徒たちを受け入れてきました。そこで出会った子ども達が、何度でも訪れることができる場所が欲しいと、2020年6月に「こども自然体験くじら堂」をオープンしました。地元の食材を使ったランチやドリンクを、島の陶芸家の蓮尾寧子氏や沖山努氏の器に盛り、提供しています。また小さなお子様には、果物付きの「こどもランチ」もご用意。気兼ねすることなく過ごしてもらうため、予約制となっています。子どもの心と体が自然の中で育つ場所として、のんびりと会話や飲食を楽しみ、島の空気に浸る豊かさを感じてみてください。



このデザートは、ピスタチオとアメリカンチェリーのヌーグーグラッセでした。

【住所】〒737-2101 広島県江田島市大柿町飛渡瀬380
 【電話】0823-36-5989
 【mail】etajimakujirado@gmail.com
 【カフェ・ランチ】10:00~16:00(L.O.15:30、不定休・要予約)

ご予約や最新情報は… 江田島 こども自然体験くじら堂 検索

New! えたじまパン屋カフェ

大柿町 大原

「しまのぼん souda!」

島の食材を使い、石窯でカンパーニュなどのパンを焼く。



江田島オーリーブ普及員として江田島市に移住し、ETTO4号の特集ページに登場された西村京子さん。将来の夢は人と人が繋がるパン屋カフェの運営だと語ってくれていました。3年間の任期を満了し、広島市内で修業。2020年6月に「空」「海」「大地」の頭文字をとった「souda!」を、古民家をリフォームして開店しました。オーリーブ酵母で起こした自家培養発酵種を使い、毎日食べても飽きがこないパンを目指して、自ら制作した石窯で心を込めて焼いています。「不定期ですが通販もやっていますので、SNSをチェックしてくださいね」とETTO読者へのメッセージも! 江田島市の食材を作る生産者さんの想いもパンにのせて届けたい。気軽に集えておしゃべりできるようにしたい。「souda!」はパンを売る場所というだけではなさそうです。



石窯の温度が337度になった時にパンを入れて、焼き時間は30~45分ほどだそう。

【住所】〒737-2213 広島県江田島市大柿町大原1637-1
 【mail】souda.pantabeyo@gmail.com 【電話】なし
 【営業】金、土、日、月 11:00~17:00 【通販】不定期
 【HP】https://pantabeyo.com/

通販予定や最新情報は… 江田島 しまのぼん souda! 検索

ETAJIMA NEWS

新たな宿泊施設が、能美町中町の長瀬海岸に建設中!

こころと身体が元気になる温泉宿「江田島荘」の建設が進んでいます。32室の客室に、平屋の温泉棟を併設した4階建てのこの施設は、江田島市の魅力を発信するおもてなしの拠点として、2021年7月にオープン予定です。



惜しまれつつも閉館した「国民宿舎能美海上ロッジ」に代わる宿泊施設が、中町港から徒歩10分の「シーサイド温泉のうみ」跡地に新設。【住所】江田島市能美町中町4718 【電話】0823-27-7755



30歳前後とお若いながらもその道のエキスパート、活躍に期待大です!



阿部直樹さん
— 支配人 —

スタッフの人柄をお客様はとても敏感に感じ取ります。愛を持っていないと宿泊施設の運営はうまくいかない。江田島ならではの最高の料理や温泉、サービスを通じて、楽しい会話が生まれ、素の自分に戻ってリセットできる場所を皆で目指します。



小竹隼也さん
— 料理長 —

良い食材がたくさんあり、ブランド品と比べても決して引けを取らず、料理人にとって天国!生産者さんのすばらしさをお客様に伝えたいです。江田島の全てを五感で楽しんでいただけるように、演出も含めて工夫を凝らした料理を提供していきます。



外山和己さん
— 副料理長 —

生産者さんがどのように野菜を育てたり、魚を獲ったりしているのか。込められた思いを知ることは料理人にとって重要で、食材への向き合い方が確実に変わっていきます。小竹料理長と、ストーリーを感じていただけるような料理を作っていきます。

クラシックな料理を得意とする。第5回ひろしまシェフ・コンクール最優秀者として、フランスの二つ星レストラン「ラ・グルヌイエール」で3年間修業。

「東京江田島ファン倶楽部」総会・懇親会を開催

1月に「東京江田島ファン倶楽部」の総会・懇親会が、銀座にあるひろしまブランドショップ「TAU」3階のレストランで開かれました。今年も、ワインやビールとともに、美味しい瀬戸内イタリアンや江田島牡蠣を堪能。1階ではえたじま物産展も同時開催されており、ブランド代表者に商品の特長を語っていただきました。おかげさまで、お土産をたっぷり購入して帰宅する会員様が多数!ウィズコロナ時代、「TAU」や通販で定番や新商品を見つけて、えたじま特産品を楽しみましょう。



えたじま物産展の「瀬戸内みそ」江田島銘産株式会社「迫製麺所」の方々。



1年間の活動の振り返りや、次年度の取り組み紹介を聞く会員の皆様。



明岳周作(あきおかしゅうさく)江田島市長と楽しく、時には真剣な会話もできる懇親会。

「東京江田島ファン倶楽部」入会のご案内

- 入会資格: 江田島市にゆかりのある方や、関心がある方ならどなたでもご入会いただけます。
- 会費: 無料です。■特典: 会報誌「ETTO(えっと)」最新号を、年1回ご自宅へ送付いたします。
- 総会: 年1回開催いたします。情報交換や交流の場としてお気軽にご参加ください。



※東京近辺にお住まいの方に向けたファンクラブですが、どなたでも入会可能です。
 ◀「東京江田島ファン倶楽部」入会申し込みフォームのQRコードです。スマートフォンなどから簡単に入力できます。

詳しくは… 東京江田島ファン倶楽部 検索

東京江田島ファン倶楽部 会報「ETTO(えっと)」編集部より

読者アンケート&プレゼント!!

同封のアンケート用紙、または下のQRコードやURLからアンケートフォームにアクセスして、お答えくださった方の中から抽選で、丸古さんの「江田島本」をプレゼント!
 また、2021年6月開催予定の「江田島荘」試泊会のご参加者も募集いたします。たくさんのご応募をお待ちしております!!

アンケートのQRコード



https://etajimafan.net/free/researchs-etto

【編集後記】

今号の特集はいかがだったでしょうか。ご紹介したのは、僕が知っている範囲のもの。まだ市内には色々な史跡や名勝があるはず。新型コロナウイルスという想定外の出来事は予断を許さない情勢ですが、一息つくことができれば、江田島市の史跡巡りをしながら、ふとした発見を楽しんでいただければ幸いです。また、編集部では読者アンケートを大募集いたします。左記をご確認の上、ぜひご応募ください。(ETTO編集長: 畑河内真)

今回、人事異動により、東京江田島ファン倶楽部の担当を離れることになりました。人との交流が生まれるETTOの取材は、とても楽しかったです。掲載用写真を何度も撮りに行ったり、映える青空の日を待ったことも良い思い出です。読者の皆様には、ETTOを

「江田島本」発刊

フリーライターの丸古玲子さんが、約1年かけて集めたインタビューを軸に、読みやすくまとめた「江田島本~伝統はだれが作る。伝統、伝承、伝説の島~」が2020年2月に、1,210円で発売されました。巡洋艦大淀の紙芝居や旧陸軍による原爆救援活動、旧江田島海軍下士卒集会所・海友舎の建築保存、第1術科学校と幹部候補生学校への表敬訪問、愚問痴地蔵尊の建立にまつわる話など、切り口も多彩なおススメ本です。



「江田島本」を持つ著者の丸古さん

取材同行エピソード: インタビュー中の丸古さんはごく自然体。柔らかく素直に受け答えされていて、本の文体そのままのお人柄でした。(ETTO編集長: 畑河内真) 水島頼さん宅への同行では、復活した軍艦利根の真夏の慰霊祭の話題も出て、歴史は今も現在進行形で続いていると感じました。(小林由佳)

江田島市の耳寄り情報を更新中

2013年に開設した「江田島ファンネット」は、江田島市のニュースや人気スポットなど耳寄り情報を発信しています。会員登録された方には季節ごとのメールマガジンも配信。ぜひ一度アクセスしてください。

詳しくは… 江田島ファンネット 検索

通して「新たな江田島市」を感じていただけたら幸いです。空き家や移住のご相談も、新担当者がしっかり引き継ぎます。引き続き、東京江田島ファン倶楽部をよろしく願っています。短い間でしたが、本当にありがとうございました。(ETTO編集長: 古本淳一)

今年度よりETTO編集者となった松本です。どうぞよろしく願っています。裏表紙では、カーシェアりや新規開業施設への訪問など、旅行計画のご参考になりますように。(ETTO編集者: 松本大樹)

6号は、江田島市の今昔様々な情報が詰まった、読み応えのある内容だと思います。史跡巡りや新規開業施設への訪問など、旅行計画のご参考になりますように。(ETTO編集者: 正藤由美子)

本誌「ETTO(えっと)」へのご要望やバックナンバーの入手、「東京江田島ファン倶楽部」に関するご質問など、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 江田島市役所 企画振興課「東京江田島ファン倶楽部」事務局 〒737-2297 広島県江田島市大柿町大原505番地
 Tel: 0823-43-1630 Fax: 0823-57-4433 Mail: kikaku@city.etajima.hiroshima.jp